

第 27 回国際音楽祭ヤング・プラハは今年も多くの方々を支えていただき成功裏に終了いたしましたことをご報告させていただきます。音楽祭を開催するにあたりお世話になりましたすべての皆様に御礼申し上げますと共に心より感謝致します。

秋の音楽シーズンを飾るユニークなイベントとしてプラハの音楽愛好家達が楽しみにしているヤング・プラハは 9 月 10 日にワルトシュタイン宮殿ホールでオープニングコンサート、9 月 26 日にドヴォジャーク・ホールでクロージングコンサートまで 18 日間で 14 回のコンサートを開きました。世界 7 カ国からソリスト、弦楽四重奏団、木管四重奏団、ピアノ・トリオ等計 24 名の若き演奏者が招待され、プラハや各地で演奏会を繰り広げました。プラハの貴族の宮殿ホール、山間の小さな教会、ドヴォジャークやスメタナ、モーツァルト、リストなど往年の大作作曲家ゆかりの建物や舞台が会場として提供され、若い音楽家達は渾身の演奏をしてそれぞれ貴重な体験を自身の身体で味わうことが出来ました。

日本からはカルテット・アマービレとプラハ在住の松原孫ナタン氏 (チェロ) が招待されました。オープニングコンサートの一番手はクララ・ギビシヨバさんのハイドンのピアノ協奏曲 D 長調 11 番。クララさんはなんと 8 歳、チェコ委員会の強い推薦でヤング・プラハのデビューを飾りました。松原君はハイドンのチェロ協奏曲 C 長調 1 番を演奏。彼はプラハの日本人学校の卒業生で、この音楽祭にはご両親に連れられ先輩達の素晴らしい演奏を聴いて学びましたが、今年のご自身が出演されることとなり急遽、留学先の米国から帰国されました。

弦楽四重奏団カルテット・アマービレは 9 月 22 日、北ボヘミアの山間地にあるルチャニー村の聖マリア教会で最初の演奏をしました。この村はヤング・プラハを今日の姿に育てられたスメタナ・クアルテットの故コステツキー教授が住居し、クアルテットが練習に励んだところで、秋口、世界ツアーに出発する前に演奏曲を披露した縁のある教会です。今年も私もヤング・プラハに参加することが出来、彼らとともにこの山村を訪れカルテット・アマービレの演奏を聴きました。聖マリア教会は素晴らしい音響のホールでスメタナ・クアルテットがこの山村の教会でレコーディングや演奏会をしたということもなるほどとうなずけました。

## 一般社団法人国際音楽祭ヤング・プラハ

### 会長 ピアニスト 岩崎 淑



ハイドンの弦楽四重奏曲 C 長調 77 番「皇帝」、ヤナーチエクの弦楽四重奏曲「クロイツェル・ソナタ」とラベルの弦楽四重奏曲 F 長調の三曲を演奏しましたが、カルテット・アマービレの演奏は響、音色、音響、全てが素晴らしくスメタナ・クアルテットの応援団だった耳の肥えた聴衆の喝采を浴びました。

翌 23 日はプラハから 1 時間のビソカー村にある作曲家アントニン・ドヴォジャークの住まい「ヴィラ・ルサルカ」を訪問。生憎、時々雨が降る天気でしたが四代目にあたるペトル・ドヴォルザーク様にご案内いただきました。ペトル様は亡き父上を継がれ、ヤング・プラハの名誉会員にご就任されました。9 月 26 日はハルドルフィヌムのドヴォジャーク・ホールでクロージングコンサート。カルテット・アマービレはチェコの作曲家マルティヌーの「弦楽四重奏とオーケストラのための協奏曲」を四人のカルテット奏者がステージに立って国民劇場オーケストラと演奏しました。現代曲のように難しく、かつ興味のある曲でとても楽しみ大拍手でメンバーの好演を讃えました。日本ではまだ演奏されたことがないので、ぜひ日本での演奏を望みます。最後に 24 歳の若さでチェコ・フィルハーモニー管弦楽団のコンサート・マスター (チェロ) に抜擢されたヴァーツラフ・ペーターさんがドヴォジャークのチェロ協奏曲を演奏し、盛況のうちに今年のヤング・プラハ音楽祭は終了いたしました。

## 2018年 第27回国際音楽祭ヤング・プラハ

今年は、9月9日から9月24日にわたって、プラハとチェコ各都市等で演奏会が開催されました。



ご支援者の皆様



オープニングコンサート 8歳のピアニスト!



コンサートが終わって、ポーランド大使館ホール



ファイナルコンサート  
チェロ ヴァーツラフ ペーターさん

### 松原 孫 ナタン (チェロ) < オープニングコンサート 他に出演 >

今年の第27回国際音楽祭ヤング・プラハに演奏者として参加できたことを光栄に思います。チェロを習い始めた頃、ヤング・プラハの演奏会を見に行き受けた印象を思い出すと、今でも出演できたことが不思議に思えます。音楽祭には初めて聴きに行った年からほぼ毎年行っていたので、出演者が優秀な若い演奏家であることをよく知っていました。演奏することが決まった時は、嬉しかったと同時にとても緊張したのを覚えています。実際にリハーサルが始まると、共演者や関係者の方々が温かく接してくださったので、僕にとってはとても楽しいコンサートになったと思います。チェコでチェコの音楽を弾けることやオーケストラと共演できるという貴重な経験をいただき、心から感謝しています。また、舞台上だけでなくいろいろな素晴らしい方たちと出会い、たいへん勉強になりました。

僕の最後のプログラムとしてプラハ日本人学校を訪れたことは僕にとって特別でした。プラハで8年間過ごした間、日本人学校に4学期通ったことは、いつでも僕の中で懐かしい思い出として残っています。今回、卒業以来久しぶりに訪問し、演奏させて頂いたことは、小学部の卒業生として誇らしい経験になりました。



オープニングコンサート in ワルトシュタイン宮殿ホール

聴衆のほとんどが小中学生というコンサートの形は初めてだったので、僕にとってはとても新鮮でしたし、演奏後に生徒の皆さんから頂いた温かいメッセージには良い刺激を受けました。また、素晴らしい先輩演奏家のお二人と共演することによって、音楽の面でも大人としても成長できたのではないかと思います。

今回は大学の日程の都合で参加するのが難しかったのですが、音楽祭事務局が大学の学長宛てに演奏会出席を上申する手紙を書いてくださり、許可を得ることができました。出演するに当たり、関係者の方々にたいへんお世話になりました。受けた刺激や感じた思いを大切に忘れず、学びに励みたいと思います。ありがとうございました。



ポーランド大使館にて



ルチャニーの教会にて



ファイナルコンサート in ドヴォジャーク・ホール

この度は、第27回国際音楽祭ヤング・プラハに出演させて頂きありがとうございました。

私たち、アマービレは、スメタナ・カルテットが世界ツアーに出る前に必ず演奏していたという Lucany nad Nisou でのリサイタル、ポーランド大使館でのコンサート、ファイナルコンサートではドヴォジャーク・ホールにて National Theatre Orchestra とマルティヌーのカルテットコンチェルトを演奏させて頂きました。

プラハの伝統あるホールなどで、チェコの音楽家の作品をプラハの方たちに聴いて頂くというとても特別な幸せな時間。沢山の方のご支援があって、このような経験をさせて頂けたことに感謝の気持ちでいっぱいです。また成長してプラハに戻ってこられるように、これからも精進致します！ありがとうございました。

篠原悠那（ヴァイオリン）

プラハで過ごした時間は、私にとって忘れられない貴重な経験ばかりでした。「国際音楽祭ヤング・プラハ」の中で、3つのステージで演奏させていただいたことはもちろん、スメタナ・カルテットが実際に合宿をされていたルチャニーに行けたこと、ドヴォルザークが作曲をしていたお宅を訪れたことなど、名音楽家の息吹に触れられた貴重な体験ができ、とても感激しました。滞在期間中、お世話になった皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

北田千尋（ヴァイオリン）

このヤング・プラハの音楽祭は私たちにとってとても大きな経験となりました。現地の空気を感じながら、ヤナーチェクやマルティヌーなどチェコの作曲家の曲をプラハで弾かせて頂いた事は大切な思い出です。またスメタナ・カルテットが頻りに演奏していたルチャニーの聖マリア教会で弾けた事もとても感激でした。また岩崎淑先生はじめ、支えてくださったスタッフの方々に心から感謝申し上げます。たくさんサポートをありがとうございました。

中恵菜（ヴィオラ）

岩崎淑先生とピアノトリオで一緒したのは今年の5月のことでした。名チェリストのCDで幾度となく聴いていた先生の音を実際に共演しながら心動かされ、得たことは本当に言葉にできないほどのものでした。

さらにその後も、アルゲリッチと僕たちアマービレが共演した際にはわざわざ熱海まで駆けつけてくださったり、いつも気にかけてくださっています。今回のチェコでの演奏も、先生の推薦によって実現したものです。現地ではたくさんさんの思い出ができましたが、特に委員の方々のあたたかいサポートは忘れられないものになりました。

こうして皆様に支えられて素晴らしい機会をいただき、良い時間を過ごせたことに感謝しております。ありがとうございました。今後も僕たちの活動を見守ってください。

笹沼樹（チェロ）

## ヤング・プラハ・フレンズのご案内

「ヤング・プラハ・フレンズ」は国際音楽祭ヤング・プラハの活動を通して若い優秀な演奏家の成長を支援しています。ヤング・プラハを経験した若い演奏家たちは、ヴァイオリンの神尾真由子(2001年参加)、ピアノの上原彩子(2002年参加)、ピアノのジュゼッペ・アンダローロ(2005年参加)、チェコの宮田大(2011年参加)をはじめ、世界の名だたるコンクールでも活躍し、ヤング・プラハでの経験を糧にますます芸術の高みを目指しています。

音楽祭は非営利団体として日本・チェコ両国の企業メセナと文化庁の支援、そして実行委員の献身的努力によって運営され、1992年より1年も休まずに続けてまいりましたことは、奇跡といって過言ではありません。しかし昨今の世界的経済不況により運営が危機的状況でございます。この意義ある音楽祭の永続的な発展のために、フレンズの皆様には引き続き暖かいご支援を賜りたく、本年度の継続をお願い申し上げます。また、お知り合いの方々にもご入会をお誘いいただければ幸いです。  
**ご入会はホームページからお申し込みいただけます。**

( <http://www.youngpraha.jp/> )

ヤング・プラハ・フレンズの皆様には、年一回東京で開催される国際音楽祭ヤング・プラハin Tokyoコンサートにご招待させていただきます。また活動の様子をご報告する会報をお送りしております。

フレンズの種類	年会費 (4~3月)
個人会員	一口 10,000円
家族会員 (個人会員のご家族)	一口 5,000円
法人会員	一口 30,000円
特別会員 (ヤング・プラハ出演者)	3,000円以上 (但し出演年から3年間は無料)



### 事務局からのお知らせ

今年も国際音楽祭ヤング・プラハを無事終わることが出来ました。ご支援下さいました方々、運営に携わりご協力下さいました方々、皆様の熱い応援があったることと心から御礼申し上げます。この音楽祭が始まって27回目となりました。日本から招待されプラハで演奏されたソリストは百名を超え、中世にタイムスリップしたような街並みのプラハで当時と同じホール、同じ空気、雰囲気の中かで多くの若手演奏家が演奏し、自ら本場の音色を響かせ、感じていただき、貴重な音楽体験をしていただきました。そのなかの多くの方たちは世界の舞台で活躍されています。それを見て、この27年間のヤング・プラハの活動がクラシック音楽にささやかな貢献が出来たのではないかと嬉しく思う次第です。今後とも皆様のご支援をいただきながら、この音楽祭を続ける所存です。どうかよろしくお願い致します。

